

HONDA GROM *Hyper Bank* **《 取付説明書 》**



おもな仕様

◆ チェンジ側 ・ ブレーキ側 ステップホルダー	➤ アルミ (ジュラルミン)	削り出し
◆ チェンジ側 ・ ブレーキ側 ポジションプレート・ヒールプレート	➤ アルミ (ジュラルミン)	削り出し
◆ チェンジ側ペダル ・ ブレーキ側ペダル	➤ アルミ (ジュラルミン)	鍛造
◆ 両側ペダルピン (可倒式機構付き)	➤ アルミ (ジュラルミン)	削り出し
◆ チェンジペダルカム ・ ブレーキペダルカム	➤ アルミ (ジュラルミン)	鍛造
◆ MFJレースレギュレーション対応 ステップバー	➤ アルミ (ジュラルミン)	鍛造
◆ エクステンション用 シフトチェンジロッド付属。	➤ ステンレス (耐蝕、耐候性素材)	削り出し
➤ 両側ペダルピン、可倒システム採用。	➤ 5 ポジション可変システム	
➤ 各部ボルト、ナット類 耐食、耐候性メッキ処理	➤ ステップバー 固定式仕様	

《 **注意 !!** 》

取付作業をはじめる前に
必ずお読みください

《 **Attention!!** 》

- ◆ 本製品の取付作業は、オートバイメーカー発行のサービスマニュアルによる、確かな知識・技術を持ったバイクショップ 又は、販売店に依頼する事をお奨めします。
- ◆ 本製品の取付作業は、エンジン・マフラー・ラジエターなどが、完全に冷えている状態で行ってください。ヤケド等の怪我の原因となります。
- ◆ 製品に加工を施さないで下さい。重大な事故の原因になります。
- ◆ 御客様の装着されているマフラー製品、その他の部品等によって本製品と干渉し、使用できないポジションがありますので、予め御了承下さい
- ◆ 本製品の取付作業終了後、走行の前に、必ず ブレーキの利き具合・引きずりの有無・ブレーキランプの点灯確認・シフト周りのガタツキ 等を確認してください。
- ◆ 本製品の取付作業終了後、初期の段階で各部のボルト・ナット類が緩み易くなっていますので、2～3日走行後必ず増し締めを行ってください。
- ◆ その後も各部のメンテナンス、及び増し締めを定期的に行なって下さい。

◇ 取付作業に入る前に本商品の部品一式が、きちんと揃っているか別紙パーツリストと照らし合わせて確認してください。

ブレーキ側(R)の取り付け

※ 作業中に、ブレーキ周りの部品が、車体やマフラーに傷をつけたりする事がある為、あらかじめ ウェス、養生テープ等でカバーして当たらないように工夫してください。

リアマスターシリンダーを止めている M6 ボルトを緩めて外し、左側のチェンジロッドのナットを緩めてチェンジロッドを取り外し、シングルアームピボットナットを緩め、左右の M8 ボルトを緩めて外した後、オートバイが倒れないよう固定してピボットシャフトを抜き左右のステップホルダーを取り外す。

ノーマルステップを外した後、純正ブレーキランプスイッチのスプリングを、ラジオペンチ等で取り外します。

その後、純正ブレーキランプスイッチアのジャストナットを回してブレーキランプスイッチをスイッチホルダーから外し、スイッチのアジャストナットもスイッチホルダーから外してください。

リアブレーキマスターシリンダーのプッシュロッド部の純正 M8 アジャストナットを緩めた後、プッシュロッドを 10mm のスパナで回し、ノーマルステップをマスターシリンダーから完全に取り外します。
(※ 純正 M8 アジャストナットを後で使用します)

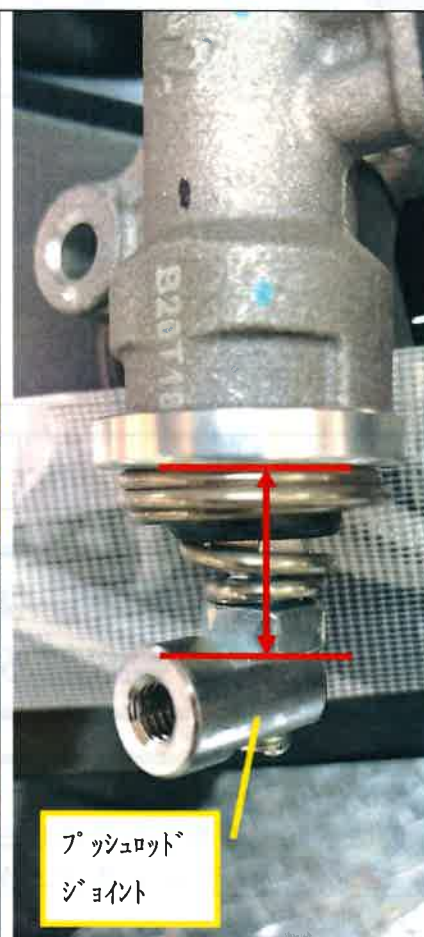
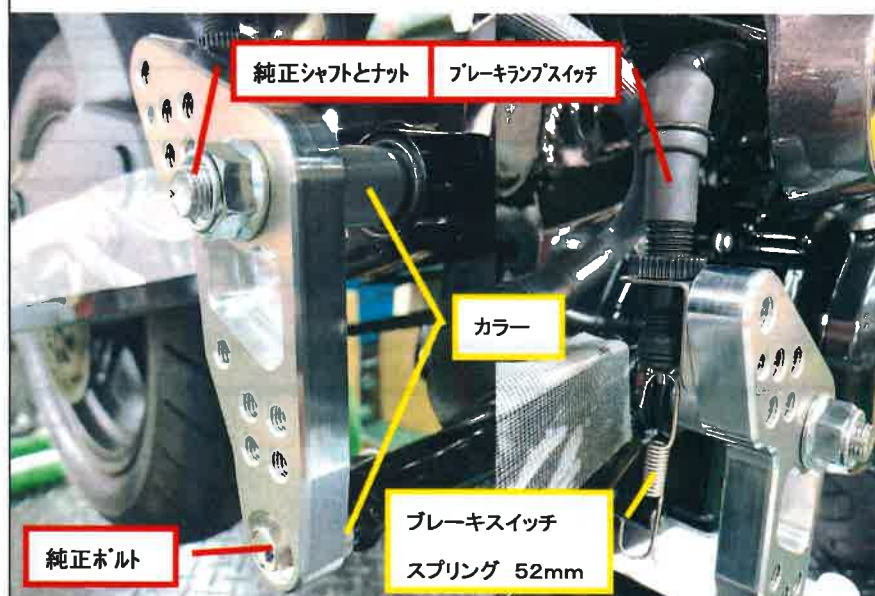
シングルアームピボットシャフトを外した逆の手順で、左右の純正ステップホルダーの代わりに左右のポジションプレートを取り付ける。

※カラーを入れる (アキス右 / 29mm ・ 左 / 10mm ・ 下 5mm)

下図右の様に、純正ブレーキランプスイッチをステーに取り付け、スイッチスプリングもスイッチの穴に通しておく。

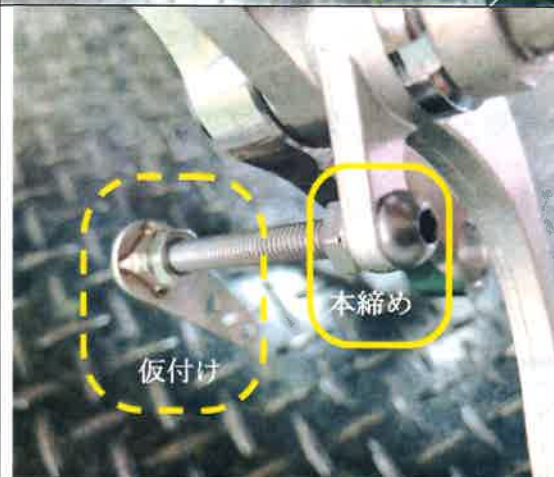
※ポジションによりスイッチスプリングの長さが異なります。

(P1~P4 / 75mm ・ P5 / 52mm)



左図の様に、純正マスターシリンダーに
a) H/B リターンスプリングカラー
b) ペダルリターンスプリング No.10
c) 純正 M8 アジャストナット
d) プッシュロッドジョイント
の順でプッシュロッドの M8 ネジ部に取り付け、スプリングの上端と、一番下のナットの下端との距離を 18mm (※ 左図矢印参照) に調整し純正アジャストナットで仮止めしておきます。

※後で要再調整



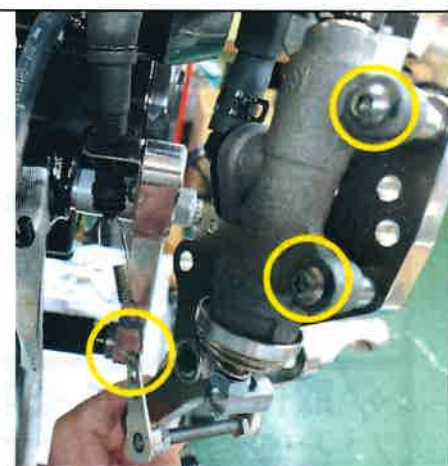
ブレーキペダルのネジ部に丸キャップボルト M6×55 を締め込み、裏から左図のように、M6 ナットで本締めし完全に固定します。

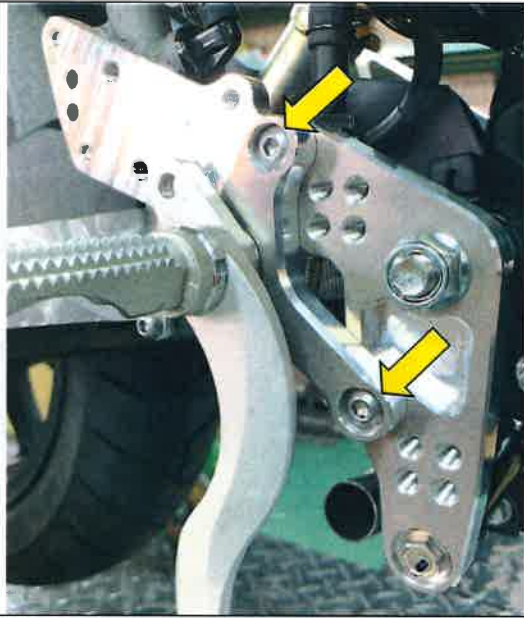
そして、スイッチロッドステーと M6 ナットを左図の様に、仮付けしておきます。

右の画像の様に、ステップホルダーの裏側にマスターシリンダーを固定する。

丸キャップボルト M6×30mm と 10t メッキカーを使用する。

その後、スイッチロッドステーにブレーキスイッチスプリングを通す。



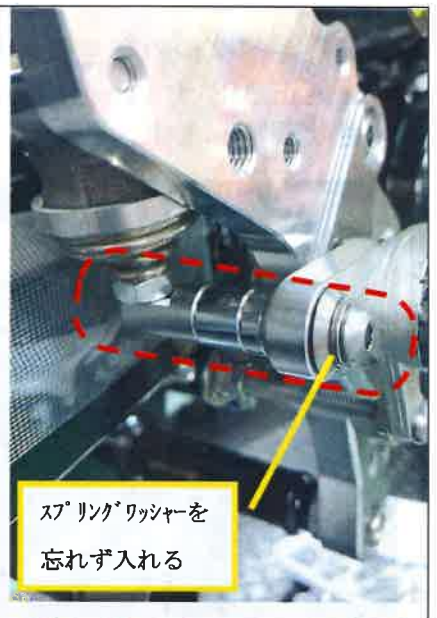


ステップホルダーを丸キャップボルト M8×20mm で、好みのポジションに取り付ける。

※6ページのポジション表を参考にして下さい。

ブレーキペダルをマスターシリンダーに連結する。

丸キャップボルト M6×35
スプリングワッシャー
HB用ジョイントカー
4.5tカー
10tカー



スプリングワッシャーを忘れず入れる

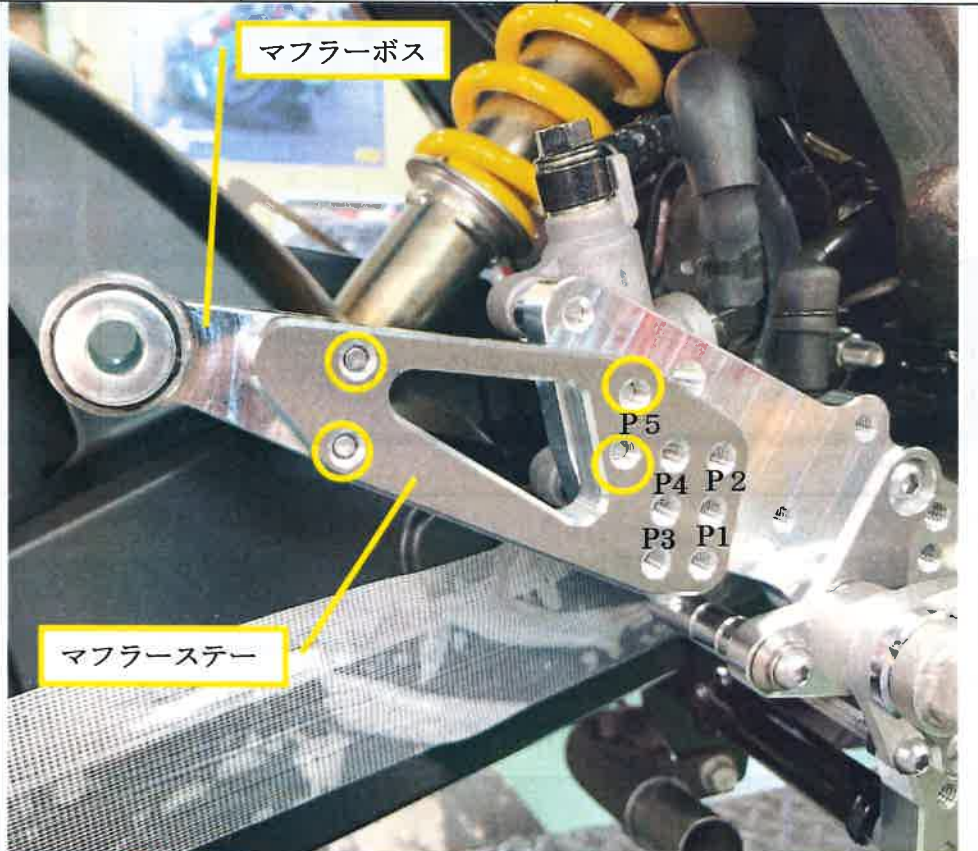


マフラーボスを純正ダンパーとカラーを左の画像の様に取り付ける。

【タンデムステップ無しの場合】

右の画像の様に、各ポジション用のね穴を使いマフラーステーをステップホルダーに取り付ける。
(丸キャップボルト M6×20mm / SPワッシャー / 平ワッシャー)

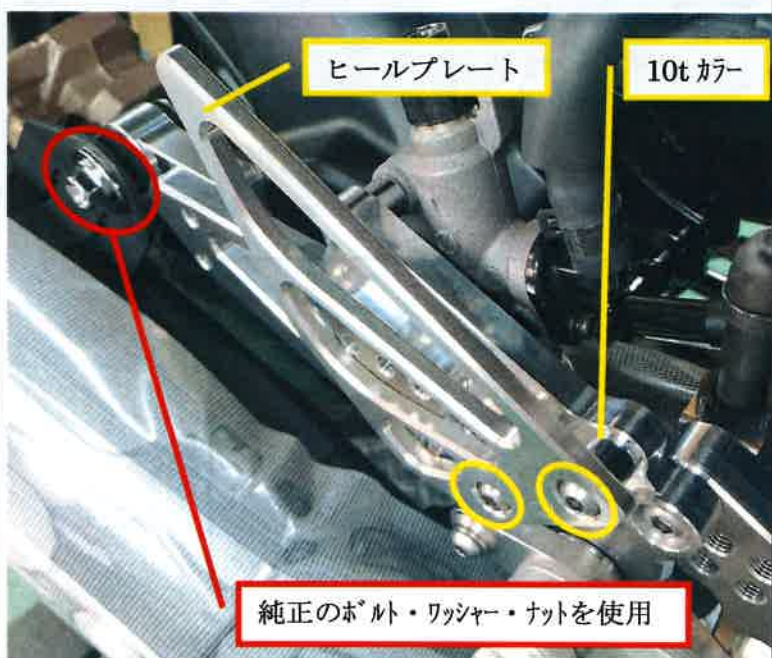
マフラーボスをマフラーステーに取り付ける。
(丸キャップボルト M6×22mm)



【純正マフラーボス位置】
マフラーボスをマフラーステーの外側に付ける事も可能
丸キャップボルト M6×35mm
9tカー (4.5tを2個)
純正カーは逆から入れる

ヒールプレートステップホルダーに取り付ける。
(丸キャップボルト M6×22mm / 10tカー)

マフラーをマフラーボスに取り付ける。
※純正マフラー以外は、マフラーにより取り付け方法が異なります。



【タンデムステップ付きの場合】

丸キャップボルト M8×15mm で、タンデムステーをステップホルダーに取り付ける。
マフラーボスを各ポジションの指定位置に取り付ける。

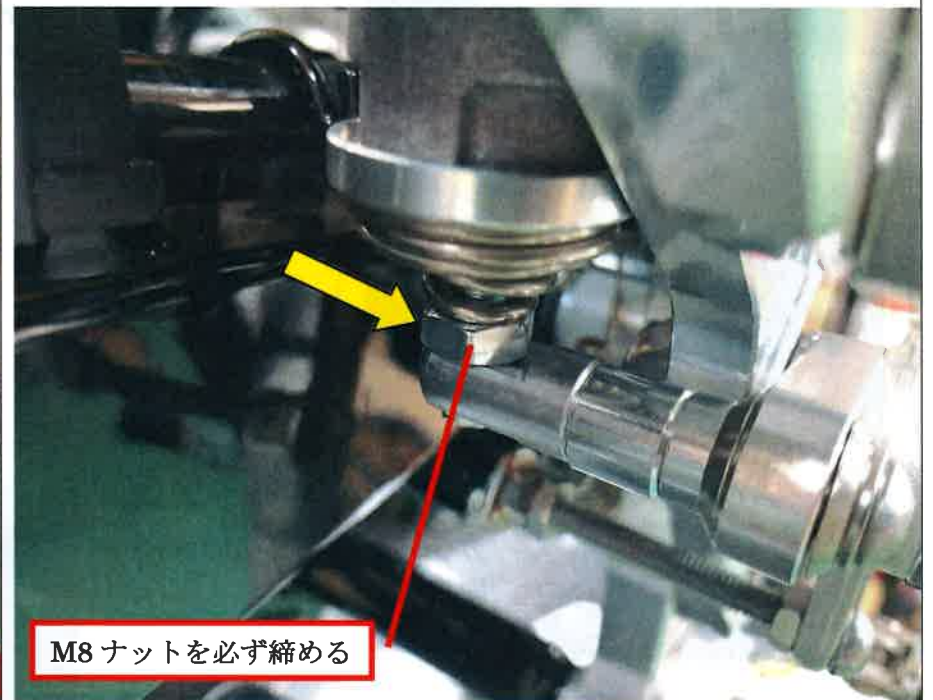
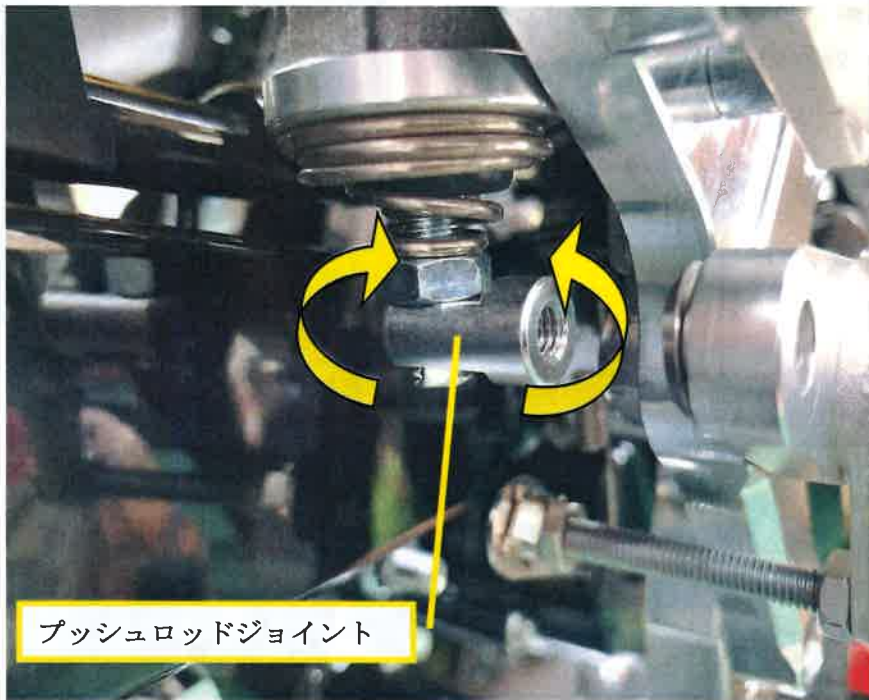
※マフラーボスは外側に付ける事も出来ます。

純正タンデムステップバーを、タンデムステップホルダーに取り付ける。

【タンデムステップ無し仕様】同様に、ヒールプレートとマフラーを取り付ける。

ブレーキペダルの高さが合わない場合は、固定ボルトを取り外し、純正 M8 ナットを緩めた状態で、プッシュロッドジョイントを回転させ調整します。

ブレーキペダルの高さ調整完了後、純正 M8 ナットを締め、プッシュロッドが回らない様に固定します。



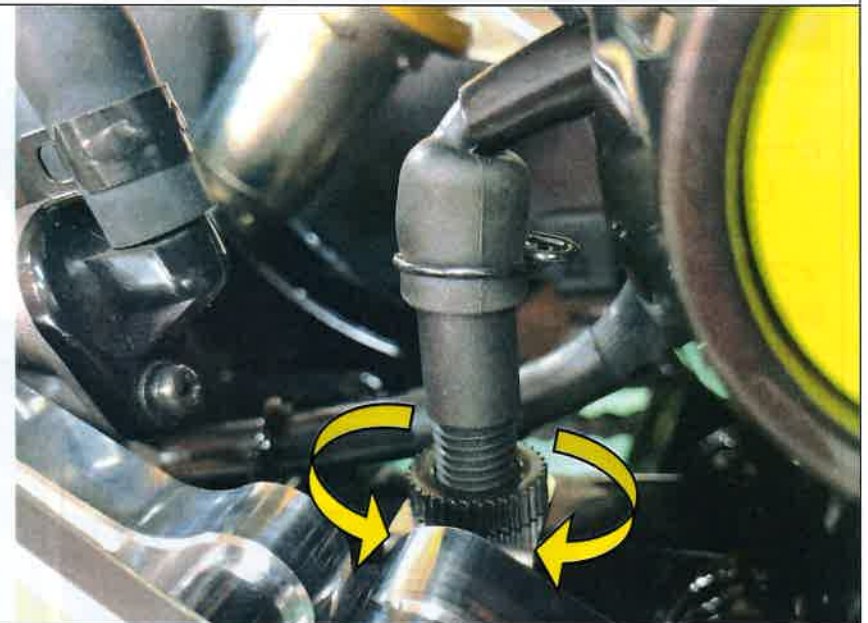
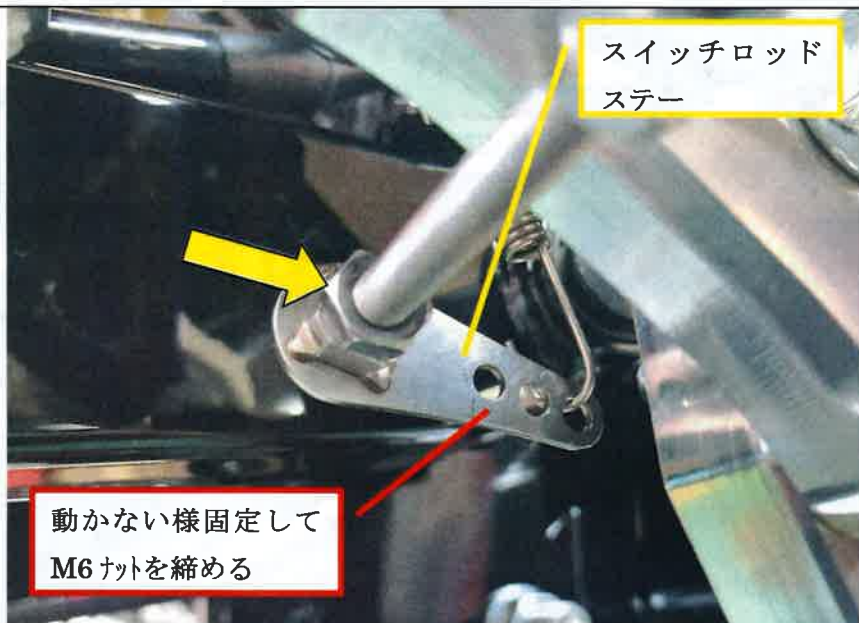
▶ ペダルが 上向き すぎる場合は、プッシュロッドジョイントを少しずつ締めてペダルの先端を下げます

▶ ペダルが 下向き すぎる場合は、プッシュロッドジョイントを少しずつ緩めてペダルの先端を上げます

ブレーキペダルの高さ調整とプッシュロッドの固定が確実に終わってから、

ブレーキペダルを操作した際に、ブレーキランプが点灯する位置で、スイッチロッドステーを M6 ナットで固定する。
※スイッチロッドステーが回らない様に押さえながらナットを締める。

スイッチロッドステーの固定完了後、ブレーキランプ点灯のタイミングの微調整を、ブレーキスイッチのナットを回して行う。



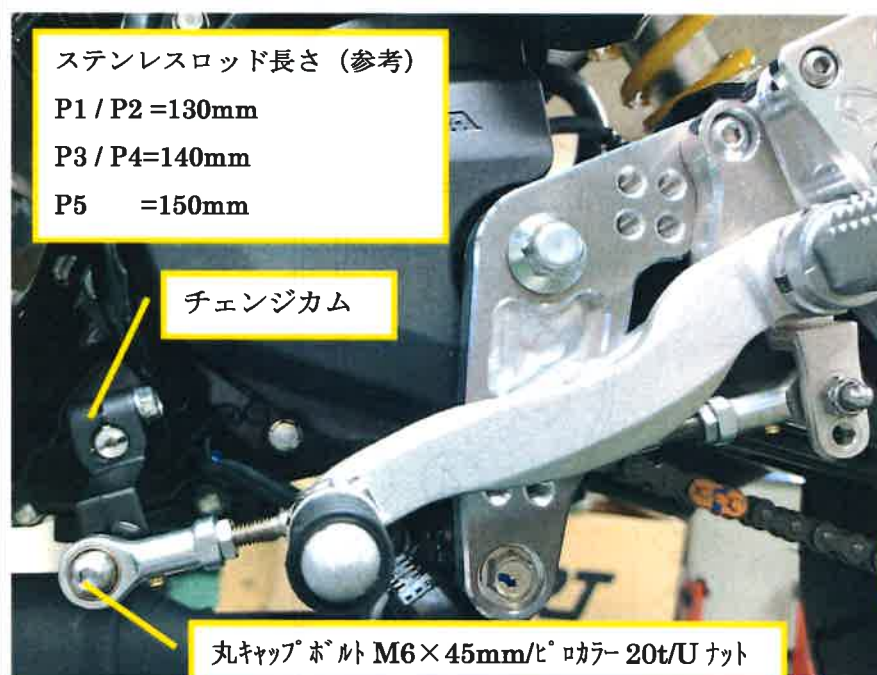
◇ ブレーキ側の取付けの最後に…

H/B ブレーキ側の取付け確認して各部の増し締めを行って下さい。

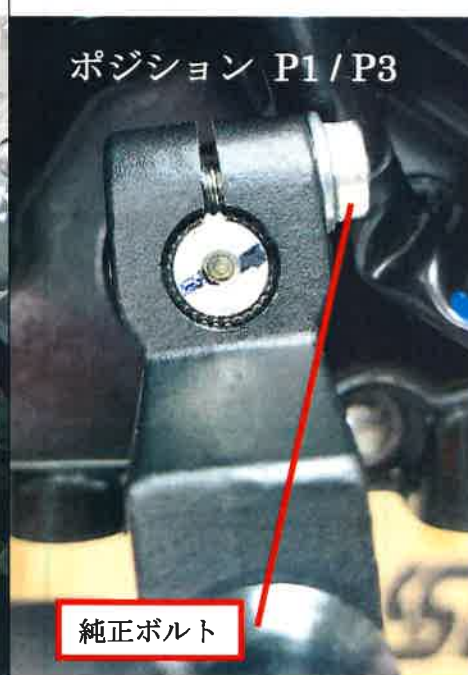
LH (チェンジ側) の取り付け

ブレーキ側同様に、ステップホルダー、ヒールプレートを取り付ける。

チェンジカムとチェンジペダルを、ステンスロッドでつなげる。



下の画像の様に、ポジションによりチェンジカムの取り付け角度を変更します。



※ 最初の取付け時は、好みのポジションで取付けて下さい。走行時は必ずご自分に合ったポジションを選択し、チェンジ・ブレーキ両側のポジションが同じであることを確認して下さい。

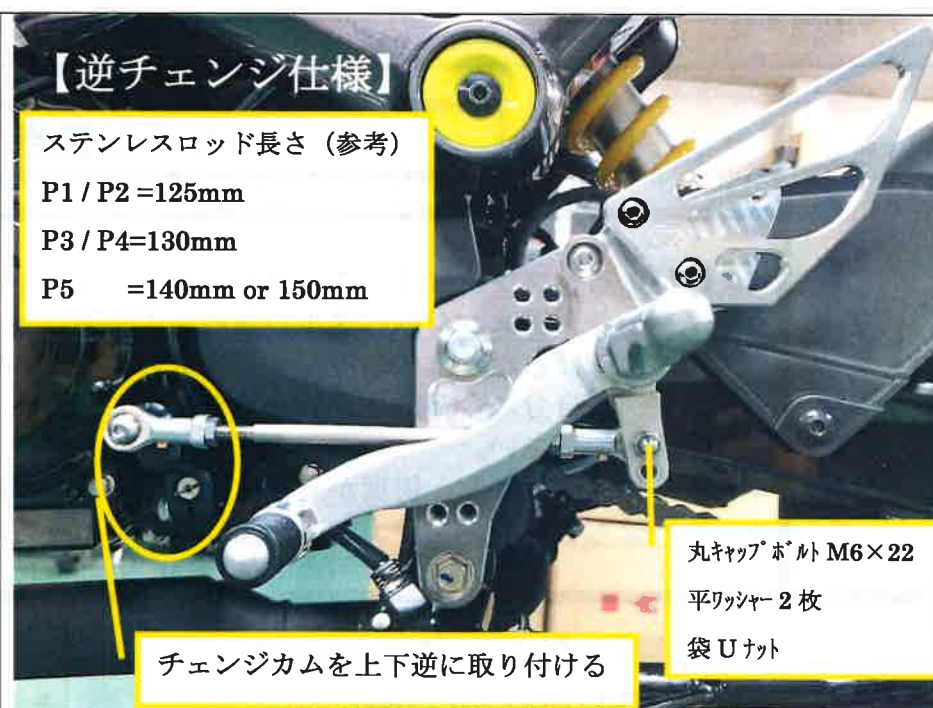
チェンジカムとチェンジペダルをステンスロッドで繋げ、チェンジペダル高さをロッドの長さを変更し好みの高さに調整する。
 調整後、必ず2つのM6ナットを本締めする。

※ 付属のステンスロッドを取り付ける際は、

- チェンジカムのピロボール M6 正ネジ
- ステンスロッドの前端 M6 正ネジ
- ステンスロッドの後端 M6 逆ネジ
- チェンジペダルのピロボール M6 逆ネジ の

それぞれの部分のネジのかかり量が 6mm 以上 になるように注意して調整して下さい。

チェンジロッドの脱落等の原因になります。!



停車状態で、シフトチェンジ操作を2～3度行って、シフトチェンジ操作に不具合が無いか確認して下さい。

◇ チェンジ側の最後に…

H/B チェンジ側の取り付け再確認をして各部の増し締めをして下さい。

ポジションチェンジについて

	BACK	UP	
Pos.1	1 1 5 mm	4 0 mm	
Pos.2	1 1 5 mm	5 2 mm	
Pos.3	1 2 7 mm	4 0 mm	
Pos.4	1 2 7 mm	5 2 mm	
Pos.5	1 3 9 mm	6 4 mm	

》 注意点 《

- ◇ 取付けるマフラーによって、選択できないポジションが有りますので御了承下さい。
- ◇ ブレーキ・チェンジ両ペダルの垂れ角の範囲は、ある程度、選択が可能ですが極端な変更は安全な操作の妨げとなりますので、十分注意してください。
- ◇ 必ず、ご自分に合ったポジションを選択し、チェンジ・ブレーキ両側のポジションが同じである事を確認して下さい。
- ◇ 取り付けが終了し、何度か走行された後に、各部のネジを増し締めすることをお奨めします。
- ◇ その後も各部のメンテナンス、及び増し締めを定期的に行なって下さい。

弊社製品に関するお問い合わせは、

TEL. 072 (257) 7600

FAX. 072 (259) 6600

(株) 日本ビート工業

まで

- > ホームページ URL
<http://www.beet.co.jp/>
- > 商品関連 e-mail アドレス
sales@beet.co.jp
- > 技術関連 e-mail アドレス
support@beet.co.jp

BEETWebsite

Web サイトを開設しております。
左記 URL にてご覧下さい。